

# 法藏館書店ニュース11月

目次

話題の本.....	P1	特集1: おかげさまで 『法藏館文庫』創刊5周年を迎えました!.....	P12~13
法藏館新刊案内.....	P2~3	特集2: 報恩講を迎える.....	P14
法藏館重版案内.....	P3~4	お知らせ.....	P15
法藏館刊行予定案内.....	P4~5	法藏館書店ベスト10・メール配信サービスご案内.....	P16
法藏館書店のおすすめ本.....	P5~11		

## ★お知らせ★ 11、12月の書店休業日

11月のお休み: 3日・10日・17日・24日

12月のお休み: 1日・8日・15日・22日

年末年始のお休み  
28日(土)~1/5日(日)まで。  
※27日(金)は12:00まで営業

## 話題の本

●中外日報(2024/10/4)

### 『魚山余響略註』

一江戸時代後期、西本願寺の声明事情を読む』  
藤波蓮凰著・A5判・456頁・13,200円  
ISBN:978-4-8318-6288-4

### 『教行信証』からひもとく 浄土真宗の教え』

藤澤信照著・A5判・216頁・1,980円 **2刷**  
ISBN:978-4-8318-8804-4

●文化時報(2024/10/4) ●六大新報(2024/9/15)

### 『読んで観て聴く 近代日本の仏教文化』

【大正大学総合仏教研究所叢書38】  
森 寛・大澤絢子編・四六判・400頁・2,200円  
ISBN:978-4-8318-5584-8

●仏教タイムス(2024/10/3) ●中外日報(2024/9/27)

苅谷定彦 小西日遼 大平宏龍 三先生頌寿記念論文集

### 『法華仏教の潮流—教えと学びの道しるべ』

苅谷定彦 小西日遼 大平宏龍  
三先生頌寿記念論文集刊行会編  
A5判・1024頁・22,000円・ISBN:978-4-8318-7782-6

●東奥日報(2024/10/3) ●山陽新聞(2024/10/3)

●下野新聞(2024/9/5)

### 『敦煌莫高窟と千仏図』

一規則性がつくる宗教空間』  
末森 薫著・B5判・354頁・13,200円  
ISBN:978-4-8318-7731-4

●日本歴史 10月号(2024/10/1)

### 『新発見書簡で読み解く 軍医森鷗外』

一後輩軍医佐藤恒丸に問う海外情勢』  
石川 肇・林 正子・松田利彦編  
A5判・284頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-6285-3

●中外日報(2024/9/27)

### 『悩んだら『歎異抄』』

一親子・家族関係の相談から  
カウンセラーが見つけた光』  
富田富士也著・四六判・153頁・2,090円  
ISBN:978-4-8318-5655-5

●中外日報(2024/9/20)

### 『マンダラの新しい見方』

森 雅秀著・A5判・262頁・3,960円  
ISBN:978-4-8318-6352-2

●仏教タイムス(2024/9/19)

### 『高津正道の僧籍剝奪を問う』

高津正道の僧籍剝奪を問う会編  
四六判・206頁・1,870円・ISBN:978-4-8318-5585-5

●中外日報(2024/9/9)

### 『日本仏教を変えた 親鸞の独自性』

一『教行信証』と『選択集』の比較から見えてきた、  
念仏の真価』  
根津 茂著・A5判・434頁・1,980円  
ISBN:978-4-8318-8801-3

●史学雑誌 第133編第8号(2024/8/20)

### 『中世仏教の再編と禅宗』

原田正俊著・A5判・343頁・9,900円  
ISBN:978-4-8318-6275-4

●宗教民俗研究 第34号(2024/3/21)

### 『中世神祇講式の文化史』

星 優也著・A5判・320頁・6,600円  
ISBN:978-4-8318-6274-7

### 『お地蔵さんと日本人』

清水邦彦著・四六判・214頁・1,980円 **2刷**  
ISBN:978-4-8318-6273-0

## 法蔵館文庫創刊5周年記念

★DMM GAMES「文豪とアルケミスト」とのタイアップ帯を特装! ©2016 EXNOA LLC

### ◆法城を護る人々 上・中・下

【小説】

松岡 譲著・文庫判・各2,200円

痛烈な教団批判と煩悶青年の葛藤を息づまる迫力で描く、松岡譲の代表作にして自伝的小説、待望の復刊!

[上巻]528頁・ISBN:978-4-8318-2681-7

雪国の大寺院に生まれた主人公・宮城は、寺院の生活が拝金主義の類に過ぎないと考え、寺を継ぐことを断固拒絶。旧来の教団と寺院のあり方を頑迷固陋に護る父との間に凄絶な対立が生じる——。解説＝野尻はるひ

■目次

上巻 生活篇

序品

前篇

解説 『法城を護る人々』復刊に寄せて 野尻はるひ



[中巻]464頁・ISBN:978-4-8318-2682-4

東京の帝大に進学した主人公・宮城の心は様々な宗教者が戦わず法論に接しながら揺れ動く。宗門改革運動にも引かれたものの、心を満足させてくれる宗教者には出会えず——。解説＝真継伸彦、大澤絢子

■目次

中巻 信仰篇

中篇

解説 真宗教団論

——『法城を護る人々』が提起するもの 真継伸彦

解説 「法城を護る人」とは誰だったのか 大澤絢子



[下巻]552頁・ISBN:978-4-8318-2683-1

五十年に一度の宗祖の大御遠忌のために京都に行った主人公・宮城は、「苦々しき封建時代の遺物たるお祭騒ぎ」を前に、真宗寺院とそれに付随する一切を徹底的に批判するが、やがて——。解説＝半藤末利子

■目次

下巻 批判篇

下篇

解説 父・松岡譲のこと 半藤末利子



# ◆国際理解は宗教がほぼ半分

【社会／宗教】

——外国ルーツの隣人を知るために

三木 英著・四六判・256頁・2,420円・ISBN:978-4-8318-7783-3

技能実習生をはじめ、増加しつつある身の回りの外国出身者がどんな人なのか気になりませんか？ 信仰を理解することが一番の近道です。

## ■目次

- 第1章 新年になってから生まれたイエス——二つの正教
- 第2章 日本で迎えるみんなの記念日——カトリック
- 第3章 聖書に書いてあることはすべて正しい——ブラジル福音主義キリスト教
- 第4章 ターバンと辛いカレー——シク教 ほか

釈 徹宗氏推薦!

ためし読み



# ◆ザ・グレートブッダ・シンポジウム論集 第21号 東大寺と弘法大師空海

【仏教／歴史】

GBS実行委員会編・A4判・予128頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-0721-2

生誕1250年記念シンポジウム「東大寺と弘法大師空海」の報告をもとにした論集。東大寺の教学、歴史を通して、空海の姿がみえる一冊。

## ■目次

- 空海と南都仏教(武内孝善)
- 真言宗・寺院制度・唐からみた東大寺と空海(堀 裕)
- 初期真言寺院における造像と空海の造仏観(原 浩史)
- 弘法大師空海と華嚴教学(土居夏樹)
- 華嚴と密教の底流(吉田観禮)
- 全体討論会「東大寺と弘法大師空海」



# 法藏館重版案内

## ◆真宗悪人伝

【真宗／仏教】 3刷

井上見淳著・四六判・284頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-8790-0

善信房親鸞、熊谷直実、弁円、慈信房善鸞、唯善、蓮崇、顕如、教如、智洞、金子大榮。浄土真宗の歴史に輝く、「悪人」たちの物語!

## ■目次

- 善信房親鸞 1 闇から光へ／2 出遇い／3 別離のとき／4 教えに生きる／5 求道の跡
- 熊谷直実 平等の社会をもとめて／法然聖人と蓮生／往生の予告
- 弁 円 ほか



## ◆新装版 真言密教の基本

【宗教／密教】 3刷

### ——教理と行証

三井英光著・四六判・246頁・2,200円・ISBN:978-4-8318-6566-3

真言密教の「行」ひとすじに生きてきた著者が、70年に満たんとする祈りの生活を通じて得た、真言密教実践の道を綴った教理の入門書!

#### ■目次

- 第一部 真言密教の教理——弘法大師の教法  
第二部 真言密教の行証——実修の道としての四度行法  
第三部 密教行法の体解 ほか



## 法蔵館刊行予定案内

### <2024年12月 刊行予定>

#### ◆ひとりふたり・・・——お正月を迎える

四衢 亮編・A5判・24頁・136円・ISBN:978-4-8318-1173-8

【仏教／真宗】

身近なことから真宗の教えにふれる聞法誌。人気連載多数で、わかりやすく面白、参考になる、気軽に読める、と好評です!

#### ◆仏教と陽明学

法蔵館文庫

【仏教／中国思想】

荒木見悟著、三浦秀一解説・文庫判・224頁・1,210円・ISBN:978-4-8318-2684-8

諸思想が交錯する明代の思潮を解きほぐし、陽明学とは何かを明らかにするとともに、高僧たちの個性的な思想を活写して明末仏教思潮を浮き彫りにする。

#### ◆あきらめる勇氣——「見えなくなった」僕を助けてくれたのは

松永信也著・A5判・128頁・1,540円・ISBN:978-4-8318-5620-3

【文芸／福祉】

見えなくても、今日も世界は美しい——。難病で視覚を失った著者が、「見えない」世界の現実と何気ない豊かな日常を綴るエッセイ。

#### ◆中論講義 上

立川武蔵著・四六判・328頁・3,850円・ISBN:978-4-8318-2483-7

【仏教】

大乘仏教の思想的核となった『中論』。龍樹の論法とは、いかに形式論理学によるものだったのか。『中論』研究の泰斗が丁寧に解明。

#### ◆正倉院文書を考える

宮崎健司編・A5判・240頁・4,950円・ISBN:978-4-8318-7784-0

【日本史／仏教史】

奈良時代史研究の宝庫たる正倉院文書を用い、写経組織と事業の解明、当時の仏教理解、官人と僧侶との人間関係の解明などの仏教史にも関わる問題を掘り下げる。

## ◆立山地獄谷のあだ討ち

——十返舎一九『越中楯山幽霊邑讐討』を読む

福江 充著・四六判・予160頁・1,650円・ISBN:978-4-8318-6290-7

【文学／芸芸】

江戸時代後期の人気作家、十返舎一九の知られざる小説『越中楯山幽霊邑讐討』の意識に翻刻・影印・解説を付す。一九お得意の洒脱な筆致が冴えわたる一大スペクタクル！

## ◆唯信鈔文意講義 幡谷明講話集 第3巻

幡谷 明著・A5判・予340頁・4,400円・ISBN:978-4-8318-3455-3

【仏教／真宗】

## ◆浄土論註講義 上 幡谷明講話集 第5巻

幡谷 明著・A5判・424頁・4,400円・ISBN:978-4-8318-3457-7

【仏教／真宗】

曾我量深、金子大榮、山口益に学んだ著者が、親鸞教学のかなめと、伝えていくべき教学的課題を自身が納得いくまで語られた二十数年来の講義録(全7巻)。親鸞の思想史的解明に尽力した「幡谷法座」の集大成。

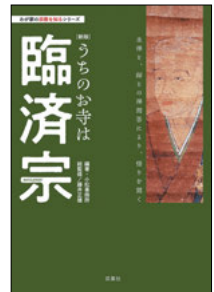
## 法 藏 館 書 店 の お す す め 本

わが家の宗教を知るシリーズ

### ◆新版 うちのお寺は臨済宗

小松事務所著、藤井正雄総監修・A5判・216頁・1,980円〈双葉社〉

「臨済宗早わかり」、開祖はこんな人「榮西禅師」経典・著書にみる教義「臨済宗の教え」、宗門史に名を残す「臨済宗の名僧たち」、ぜひ訪ねたい「臨済宗ゆかりのお寺」、知っておきたい仏事作法・行事など、この1冊でわが家の宗派と仏事のことがまるわかり。

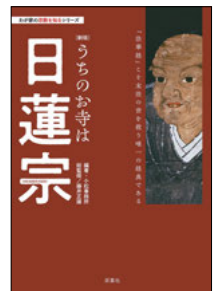


わが家の宗教を知るシリーズ

### ◆新版 うちのお寺は日蓮宗

小松事務所著、藤井正雄総監修・A5判・216頁・1,980円〈双葉社〉

「日蓮宗早わかり」、開祖はこんな人「日蓮聖人」、経典・著書にみる教義「日蓮宗の教え」、宗門史に名を残す「日蓮宗の名僧たち」、ぜひ訪ねたい「日蓮宗ゆかりのお寺」、知っておきたい仏事作法・行事など、この1冊でわが家の宗派と仏事のことがまるわかり。



## ◆日本を変えたすごい僧侶図鑑

袁輪暲量編著、東京大学仏教青年会著・A5判・231頁・1,980円  
〈産業編集センター〉

最澄、空海、法然、親鸞、栄西、道元、日蓮、天海、井上円了……人生も功績もすごすぎる！古代から近現代まで、日本に仏教が伝来してから約1500年の間に生きた個性あふれる名僧50人を紹介。日本に大きな影響を与えた僧侶たちの生涯と教えがやさしく学べる。



## ◆人間弘法大師空海

池口豪泉著・四六判・292頁・1,705円〈ロングセラーズ〉

高野山真言宗の伝燈大阿闍梨として、その教えを広め、伝えていく立場の著者が、知れば知るほど面白い「人間・空海」の実像を探っていく。本書は、「弘法大師」と呼ばれ、偉人、万能の天才とあがめられた宗教者ではなく、私達と同じように悩み、苦しみ、足掻いて生きるひとりの人間として空海を考えるという試みである。



唐代の禅僧12

## ◆法眼——唐代禅宗の変容と終焉

土屋太祐著、田中良昭・椎名宏雄・石井修道監修  
四六判・414頁・4,180円〈臨川書店〉

禅宗五家のうち最も晩く成立した法眼宗の開祖、法眼文益の評伝。法眼出現の歴史的・思想的背景から、法眼宗の断絶、宋代禅宗の胎動へと至る過程を丹念にたどり、法眼の思想の特徴とそれが持つ意義を原典資料から読み解く、唐末五代禅宗の思想史。



角川ソフィア文庫 G1-20 ビギナーズ 日本の思想

## ◆道元「赴粥飯法」

石井修道監修・文庫判・307頁・1,166円〈KADOKAWA〉

道元の著作の一つ、「赴粥飯法」には、仏道修行における食事の意義と作法が述べられている。禅では「さとり」の境地を、日常の営みの中に見出す。そのため、生活の要である「食」は、大事な修行の場でもあるのだ。自らを満たすだけでなく、他者へと想いを向け、心穏やかに生きていくヒントが、ここにはある。道元の意味を説き明かす、現代語訳と解説に豊富な写真資料を加え、「解題」「道元禅師の生涯」も収録した決定版。





## ◆四本対照 法華経読誦音の手引

本田義純編著・A5判・350頁・10,450円〈国書刊行会〉

本書は、編著者が所蔵する『嵯峨本』の一系列と思われる版経の内容を紹介するほか、『法華経』の読み音について、各宗で指南書とされてきた江戸時代以前の倭点本(上述の『嵯峨本』『慈海本』『日相本』『山家本』の四本)を比較対照し、その異同を分析した労作である。各本の解題や法華経音義に関する基礎知識も併載し、読者の便に供した。



## ◆チャンドラキールティ『中観五蘊論』の研究

——説一切有部アビダルマ教学からのアプローチ

横山 剛著・A5判・415頁・10,120円〈起心書房〉

中観派の巨匠チャンドラキールティ作とされるアビダルマ論書『中観五蘊論』。本書は、その内容を説一切有部の教学の展開に位置付けつつ、自性の否定など、随所にチャンドラキールティの特徴を持つことを指摘して、「チャンドラキールティ真撰」を論じ、また、アビダルマにおける「五蘊」の意味を問い直した画期的な研究書である。後半にはチベット訳校訂テキストを付す。



## ◆〈ゴータマ〉の大予言

——みんなが「わたしの人生」を生きるために

ひろ さちや著・四六判・180頁・1,980円〈佼成出版社〉

インドの財閥の会長と「風来坊」の青年・ゴータマの出会いから話は始まる。「やがてすべては潰れてしまう」。ゴータマは会長に大予言を語り聞かせた……古代インドが時空を超えて現代日本にやってくる。ファンタジーかSFか、もしかするとアナーキーな思想書か。2010年頃に書かれた未発表作品。



## ◆沙門果経——仏道を歩む人は瞬時に幸福になる

アルボムッレ・スマナサーラ著・A5判・355頁・4,290円〈サンガ新社〉

お釈迦様は、修行過程で得られる果報を、戒・定・慧の段階を踏みながら詳細に解き明かしていく。ここには仏教の教えの要点がすべて網羅されているとともに、お釈迦様の卓越した教え方も理解することができる。お釈迦様の教えを確かに伝える初期仏教経典がスマナサーラ長老の解説でいきいきと蘇る!



## ◆日々初心、今がすべて

——この瞬間に心を込めて生きる

塩沼亮潤著・四六判・213頁・1,760円〈三笠書房〉

あせらず、怠けず、一步ずつ。今できることを丁寧に精一杯。苦しいときは、苦しみかたを変えてみる。千日回峰行満行。さらにその後、断食、断水、不眠、不臥(食べない、飲まない、寝ない、横にならない)を九日間続ける四無行の行も成し遂げた大阿闍梨が説く、強い自分の育てかた。人生を好転させる気づきをくれる一冊!



新潮新書 1058

## ◆住職はシングルファーザー

池口龍法著・新書判・253頁・1,056円〈新潮社〉

お寺に新風を巻き起こしている型破りな僧侶が、いろいろあって離婚。前代未聞の「シングルファーザー住職」が誕生——。料理の腕はからっきし、葬儀直前のオネショに悪戦苦闘、休日もプライベートもない孤独なひとり親……それでもお寺と家族の生活を守るため、仏事と家事と育児の“三役”に挑む。ときに世間と仏教界のジェンダーギャップに悩みつつ、人生最大のピンチをどう乗り越えたのか。シンパパ住職の奮闘記!



PHP新書 1399

## ◆人生後半、そろそろ仏教にふれよう

古舘伊知郎・佐々木 閑著・新書判・197頁・1,144円〈PHP研究所〉

プロレスやF1の実況で人気を博した古舘氏は、なぜ人生後半で仏教に熱中するのか。老・病・死に向き合い、「生きる意味」を考えるうえで、釈迦(ブッダ)の仏教がヒントになる。釈迦仏教の碩学である佐々木氏と、自我の抑制に勤しむ古舘氏が、穏やかな心で生きる作法について議論する。



## ◆探していたのはどこにでもある 小さな一つの言葉だった

若松英輔著、西 淑:画・四六判・174頁・1,760円〈亜紀書房〉

〈お金では買えない「人生の富」はどこにある?〉NHK「100分de名著」でお馴染みの批評家が、「手放す」「信じる」「応答する」「聞く」「読む」「書く」などの小さな言葉から、深く生きるためのヒントを照らすエッセイ集。





物語でたどる仏教の世界 2

## ◆たましいを量る

山口辨清著・四六判・321頁・2,750円〈大法輪閣〉

仏道では、皮膚色や言語、信仰などで人を区別せず、根本は全て共通の同じ人だと見て、互いに侵害せずされず、憤みと自省で和合し、穏やかに覚りをめざす生き方が基本です。そんなふうに住きたいと、求法と伝道に努めた人々が、少しずつ広げていった仏教の世界、この物語集は、当時の人々が繰り広げたその世界を、日本へ、アジアの各地へと辿ります。



角川ソフィア文庫 J107-4

## ◆増補 日本霊異記の世界

三浦佑之著・文庫判・355頁・1,430円〈KADOKAWA〉

仏教の教えを説こうとしながらも規範的な思想にはとどまらない、古代人の生き方が投影されている。一寸法師の源流、奪われた衣を取り返す力持ちの女——。上代文学研究の泰斗が、『古事記』『日本書紀』などの神話からの影響や、霊異記以後の伝承とのつながりを読み解く。国の創成期、エネルギーに満ちた人々の姿が鮮やかに蘇る。



筑摩選書0287

## ◆「信教の自由」の思想史

——明治維新から旧統一教会問題まで

小川原正道著・四六判・260頁・1,925円〈筑摩書房〉

宗教法制をめぐる論争史。

明治以来、信教の自由は法で規定され、その解釈・運用をめぐる宗教者や知識人が激しい議論を戦わしてきた。法制度の転変をめぐる論争から見る新たな近代思想史。

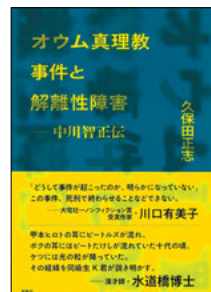


## ◆オウム真理教事件と解離性障害

——中川智正伝

久保田正志著・四六判・284頁・3,080円〈春秋社〉

中川智正はなぜオウム真理教事件に実行役として関わっていったのか。中学生時代の友人である著者が、660回にわたる面会記録と裁判記録から、解離性障害から人格が支配されるようになった経緯を初めて明らかにした伝記。



## ◆地獄の解剖図鑑

大角 修著、地人館編、ほしのちなみ：絵・A5判・160頁・1,980円  
(エクスナレッジ)

平安時代に活躍した僧侶・源信(げんしん)が書いた極楽へ行くための手引書『往生要集(おうじょうようしゅう)』の中に記された八つの地獄と死出(しで)の旅路の道行、すべての生き物は生まれ変わり、死後に次の世へ転生するという六道輪廻(ろくどうりんね)の内容を丁寧に解説する。



## ◆トラブルを未然に防ぐ 行政書士が教える墓じまい・改葬の進め方

大塚博幸著・A5判・101頁・1,650円(税務経理協会)

特殊な寺院の事情などを踏まえながら、恙なく実務を行うために必要なことをまとめ解説します。海外からの改葬や分骨など最近増えている関連実務にも触れています。改葬手続きを受任する行政書士は勿論、墓じまいを考える方にもお読みいただけるようなるべく平易に解説しました。



はなわ新書 59

## ◆八幡信仰

中野幡能著・新書判・215頁・1,100円(塙書房)

シルクロードの終着駅日本。

その民族宗教八幡信仰は、大陸文化受容史の中でいかに成立・発展してきたか。

本書はその変遷を分かりやすく親しみ深く解く。



はなわ新書 52

## ◆稲荷信仰

近藤喜博著・新書判・147頁・1,100円(塙書房)

教王護国寺境内の東寺稲荷、京洛の春を彩る稲荷祭の環幸など、今に広く庶民の崇敬を集める穀霊のカミ・稲荷の真姿を、諸資料を駆使して多彩に描きだす。



## ◆月々のことば(2025年版)

田中信勝・大野孝顕・井上 陽・徳平亜紀著・B6判・172頁・1,100円  
〈本願寺出版社〉

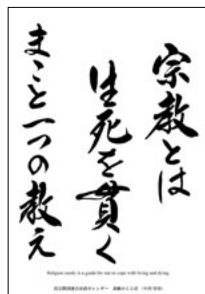
『法語カレンダー(2025年版)』の月々の法語について 田中信勝(本願寺派布教使・同仏教婦人会総連盟講師)、大野孝顕(本願寺派布教使)、井上陽(元相愛大学准教授)、徳平亜紀(本願寺派布教使)の各氏が分担執筆。『法語カレンダー』の挿絵でもある 今森光彦氏(写真家・切り絵作家)の美しい動植物の絵が表紙を彩ります。珠玉のお言葉のころを、繰り返し味わっていただくことができる法味愛楽の書。



## ◆法語ポスター(法語カレンダー2025年版)

本願寺出版社製作・B3判・13枚一組・ビニール巻・1,100円  
〈本願寺出版社〉

真宗教団連合「法語カレンダー」の法語がポスターに。  
2025(令和7)年の法語カレンダーは「宗祖親鸞聖人に会う」をテーマとした13法語が選ばれています。  
寺院の掲示伝道等にご活用ください。



## 法 藏 館 書 店 新 着 雑 誌 案 内

### ◆同朋 11月号

〈東本願寺出版〉

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円

生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

#### ■目次

◎インタビュー 金川晋吾(写真家)  
他者にふれることには切なさ  
だけじゃなくて、面白さがある。

◎特集 「恩」の話をしてみよう  
対談 福田 琢×川元恵史

#### ◎連載

- 仏事作法のひとこま／近松 誉
- 哲学者と僧侶／谷川嘉浩×中山善雄 ほか

### ◆大乘 11月号

〈本願寺出版社〉

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。

#### ■目次

・ご機言! お寺の掲示板……江田智昭

・結婚してお坊さんになりました

「中年のキキ?」……前田純代

・なるほど仏教ライフ「公認されない悲嘆」……西原祐治

・御文章をいただく……満井秀城

・みのりのエッセー

「どのように聞こえるかが問題」……西村慶哉 ほか

# 特集1

# 『法藏館文庫』

おかげさまで

# 創刊5周年を迎えました

★法藏館書店員”個人的推し”の5点★



## ◆増補 いざなぎ流 祭文と儀礼

齋藤英喜著・文庫判・518頁・1,680円・ISBN:978-4-8318-2601-5

やはり、これは外せない。華々しく創刊1号。先日、急逝された齋藤英喜先生の著書。修験道や陰陽道と習合しつつ独自の変遷をとげた高知県物部村の民間信仰を、祭文の読解により解明。民俗信仰研究の現在をアップデートする。

## ◆日本人の身体観の歴史

養老孟司著・文庫判・384頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2642-8

あの、養老先生の著書が法藏館から出版されていたとは……！日本の中近世、現代哲学の心身論から西欧の身体観まで論じる。常識をくつがえし、世界の見方を一変させる、養老「ヒト学」の集大成。



モノの見方を一変させる、養老「ヒト学」初期の傑作！



## ◆現代語訳 南海寄帰内法伝

——七世紀インド仏教僧伽の日常生活

義浄撰、宮林昭彦・加藤栄司訳・文庫判・784頁・2,750円・ISBN:978-4-8318-2643-5

「高いつ！」文庫本でこの値段はありえへん！でも興味深い。7世紀のインドの僧侶は何を食べ、どんな生活をしていたのか。唐の僧・義浄がインドと中国の戒律を比較して記した第一級の留学レポ。

## ◆江戸のはやり神

宮田 登著、小松和彦解説・文庫判・336頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2646-6

「はやり神」ってなに？「噂が噂をよんで神となる」ということなの？お地藏さん、お稲荷さん、七福神、エエジャナイカ——民衆の関心と欲求によって爆発的に流行し、不要になれば棄てられ廃れていった「はやり神」。多様な事例からその特徴を解明し、背景にある日本人の心理や宗教意識にも迫る。



## ◆安倍晴明の一千年——「晴明現象」を読む

田中貴子著・文庫判・250頁・1,320円・ISBN:978-4-8318-2651-0

京都の晴明神社は聖地★となって賑わっています。人々は晴明に何を求めているのか？スーパー陰陽師・安倍晴明はいかにして誕生したのか。千年にわたる変貌の軌跡を追い、晴明に託された人々の思いを探る好著。

2019年11月に刊行を開始した「法蔵館文庫」は、おかげさまで創刊5周年を迎えました。これまでに80点あまりを刊行しました。

今後も皆様に愛される文庫本を刊行してまいりたいと思っております。

引き続き「法蔵館文庫」をご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

## 法蔵館書店にて 文庫5周年記念フェア開催!

### 「文豪とアルケミスト」松岡 譲 等身大パネルを設置します!

期間:2024年11月5日(火)~2025年3月31日(月)

場所:法蔵館書店 ※写真撮影可 営業日、営業時間はHPでご確認ください。

松岡 譲著、[上]野尻はるひ [中]真継伸彦・大澤絢子 [下]半藤末利子解説

『法城を護る人々 上・中・下』

11月15日発売予定

[上]528頁(※2681-7)、[中]464頁(※2682-4)、[下]522頁(※2683-1) 各2,200円

寺院生まれの主人公・宮城は僧侶になることに抗い父と激しく対立する――。

痛烈な教団批判と煩悶青年の葛藤を息づまる迫力で描かれている

松岡譲の自伝的小説。待望の復刊です。

※詳しくは2ページ

### フェア期間中「法蔵館文庫」3冊お買い上げごとに、 「法蔵館オリジナル文庫ポーチ」をプレゼント。

数に限りがございますので、お早めどうぞ!



カラーはカーキ、ブラック、紺の3種類。

文庫本を入れたらこんな感じです。

- ・通販でも、文庫3冊御購入で1つプレゼント、但し色は選べません
- ・法蔵館書店・通販共に、販売も開始(店頭は10/19~、通販は11/1~)
- ・法蔵館オリジナル商品:文庫ポーチ 黒・紺・カーキ 各1,980円



## 特集2

# 報恩講を迎える

親鸞聖人(1173~1263)のご命日をご縁として、営まれる法要『報恩講』  
報恩講では、「御伝鈔」を拝読し、「御絵伝」を掲げ、親鸞聖人のご遺徳を偲びます。  
今回は「御絵伝」に少しふれてみましょう。



### ◆親鸞聖人 御絵伝

福田正朗編著・A4変判・16頁・550円・ISBN:978-4-8318-8714-6 **4刷**



報恩講の際に掲げられる親鸞聖人の生涯を描いた「御絵伝」。そこに何が描かれているのかをA4判オールカラーでわかりやすく解説した冊子。

〈法蔵館〉



### ◆宗祖親鸞聖人御絵伝

——真宗佛光寺派の伝承で見る

真宗佛光寺派御絵伝・御伝文研究会編・B5判・72頁・330円

親鸞聖人のご生涯を絵図で表した「御絵伝」について、真宗佛光寺派独自の伝承を踏まえながらその内容を分かりやすく説明するため、令和5年に厳修された慶讃法会を契機に作成。

〈真宗佛光寺派御絵伝・御伝文研究会〉

### ◆はじめてふれる 親鸞聖人伝絵 (御伝鈔・御絵伝)

沙加戸 弘著・B5判・103頁・1,650円

覚如上人が、親鸞聖人が説いた本願念仏の教えを後世に伝えるため、渾身の思いで制作された『親鸞伝絵』に込められた願いを味わう1冊。『親鸞伝絵』に初めてふれる方に最適な入門書。

〈東本願寺出版〉

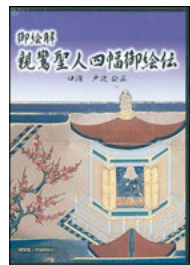


### ◆DVD 御絵解 親鸞聖人四幅御絵伝

戸次公正口演・DVD1枚組:1時間48分収録・3,850円

御絵伝は本願寺三代目、覚如上人の制作になり、四幅の掛軸で構成されている。親鸞聖人の波乱に満ちた一生を辿りつつ、当流の安心を示す一代記。口演:戸次 公正師によるDVD。

〈方丈堂出版〉



お知らせ

掘りだしものを見つけてませんか!

恒例

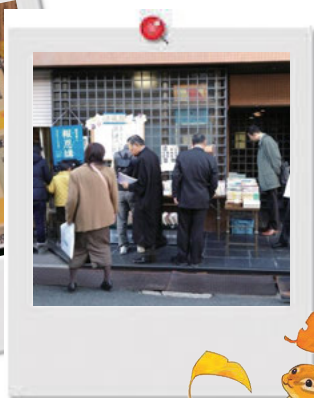
秋の本まつり 開催決定!

期間…11月26日(火)～28日(木)

時間…10:00～17:00(最終日は16時まで)

場所…法藏館書店前

今年もたくさんの本を用意して元気いっぱい、  
笑顔でご来場お待ちしております



同時開催・特別企画

◆一箱古本市コーナー



# ◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(10月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	儀式作法の心得 [新改訂版]	真宗大谷派大阪教区 出版会議編	真宗大谷派 大阪教区	440円
2	宗祖 親鸞聖人 御絵伝—真宗佛光寺派の伝承で見る	真宗佛光寺派御伝絵・ 御伝文研究会編	真宗佛光寺派御伝絵・ 御伝文研究会	330円
3	親鸞思想と解放運動	廣瀬 泉	真宗大谷派 難波別院	550円
4	住職必携—真宗大谷派儀式作法	大谷制以知	法藏館	2,860円
5	生きることを教える仏教	田畑正久	本願寺出版社	1,760円
6	【教行信証化身土巻講義】親鸞の出遇った世界 浄土真宗IV	平野 修述「平野修師講義集」 編集実行委員会編	真宗大谷派 大阪教務所	2,530円
7	【基礎から学ぶ浄土真宗3】信心と利益—救いによるこび	内藤知康	法藏館	2,200円
8	いつも心に阿弥陀さんを—お内仏から問われる 日ごろのこころ	結柴依子	真宗大谷派 難波別院	110円
9	【朝日新書935】一億三千万人のための『歎異抄』	高橋源一郎	朝日新聞出版	891円
10	【朝日文庫 あ63-10】クロミの「歎異抄」—ありのままの心を 開くカギ	朝日文庫編集部編	朝日新聞出版	660円

## 【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

### ◎アドレス変更・配信停止について◎

<https://pub.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。  
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆荷送料はご購入額合計により  
定価16,500円(税込)未満 送料—550円 代引手数料 330円  
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

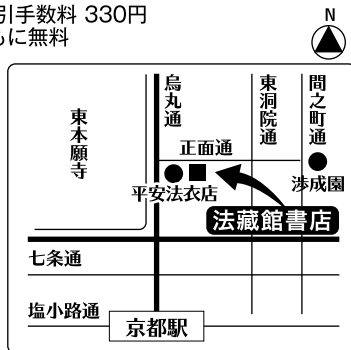
◆価格表示は全て税込価格です。

**法藏館書店 友の会会員募集中!**

友の会に入会すると、割引や来店特典など多数の特典をご用意しております。

仏教書友の会 検索

友の会 会員証



## 法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入  
電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458  
発行人: 西村明高  
E-mail: shop@hozokan.co.jp

<https://pub.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



— [営業日および営業時間] —  
月～土: 9:30～18:00  
祝 日: 10:30～18:00  
(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!



facebook

つぶやき中～!